

3. 保育所等の公園利用実態・意向調査

(1) 調査結果

1) 園外保育での公園利用

園外保育で公園を利用する頻度は、「毎日」が48%で、最も多く、「週数回」が46%となっており、9割以上の保育所等の子ども達が日常的に利用している状況といえる。

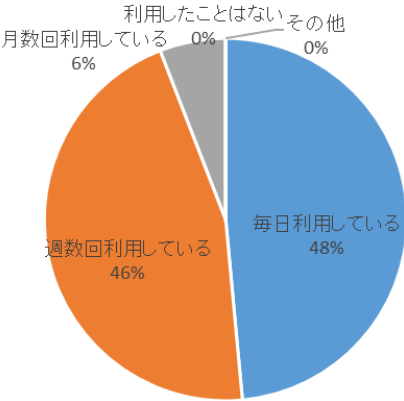


図 2-3-1 園外保育での公園利用

2) 利用する公園と利用状況 (N:49)

①利用する公園

最も多く利用されている公園は、「林試の森公園」で6、次いで「区民キャンパス公園・広場」5、「駒場野公園」5となっている。

これらの公園は、区内でも大きな公園で、広場や遊具も設置されており、利用内容が選択できる施設である。

一方、公園面積 383 m²の「中根ねむの木公園」や 2,123 m²の「伊勢脇公園」、など、小規模な公園も利用されている。

利用者数調査では、平日に合計で 53 の公園が利用され、述べ 90 の保育所等が利用していることが確認された。また、休日は、1公園のみを、1園が利用している。

表 2-3-1 利用する公園

施設名称	面積(m ²)	利用する 保育園等
林試の森公園	120,763	6
区民キャンパス公園・広場	51,000	5
駒場野公園	39,025	5
中根公園	8,271	4
中目黒公園	22,074	4
伊勢脇公園	2,123	4
小山台公園(品川区)	4,274	4
駒沢公園	413,311	3
すすめのお宿緑地公園	7,494	3
中根ねむの木公園	383	3
菅刈公園	20,049	3
碑文谷公園・運動	25,716	3
碑文谷公園・池	17,818	3

③利用公園までの到達時間

利用する公園への到達時間は、「徒歩 10～20 分」が最も多く 49%を占め、次いで「徒歩 5～10 分以内」が 29%となっている。

また、「20 分以上」を掛けて利用する場合も 7%あるほか、ヒーローバスを利用し遠方まで移動して公園を利用している様子も伺える。

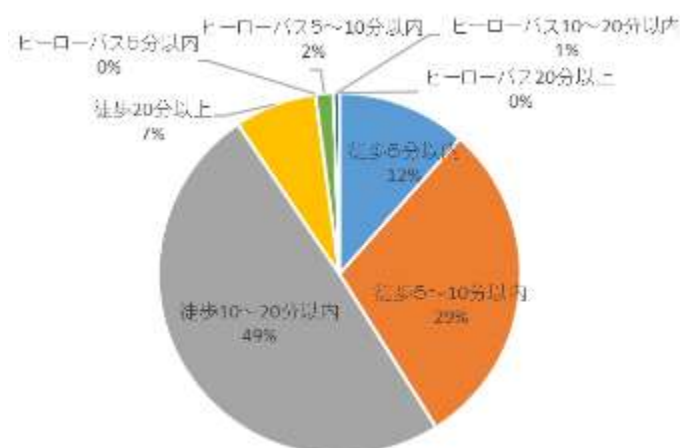


図 2-3-2 利用公園までの到達時間

3) 公園を選択する理由

公園を選択する理由は、「広場がある」が 20%で最も多く、次いで「遊べる遊具がある」が 18%、「緑や花が豊富」、「園庭がない」が 17%となっている。

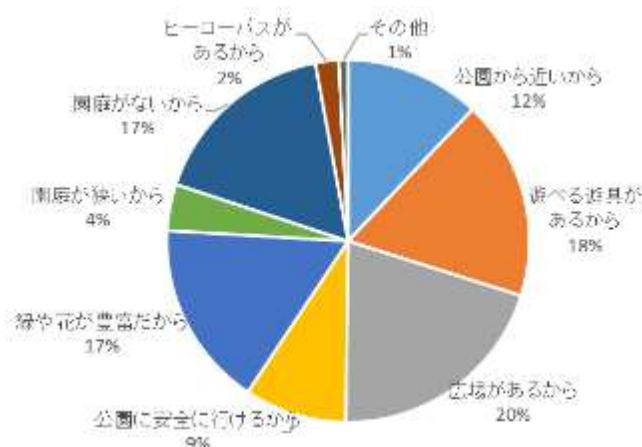


図 2-3-3 公園を選択する理由

4) 公園で行う活動について

公園で行う活動では、「いきものの探し・観察」が 26%で最も多く、次いで「広場で運動」が 24%、「遊具遊び」が 18%となっている。



図 2-3-4 公園で行う活動について

5) 公園にあって欲しい施設（複数回答）

公園にあってほしい施設では、「走り回れる広場」が46.9%で最も多く、次いで「いきものがいる草はら」38.8%、「幼児用の遊具」32.7%となっている。

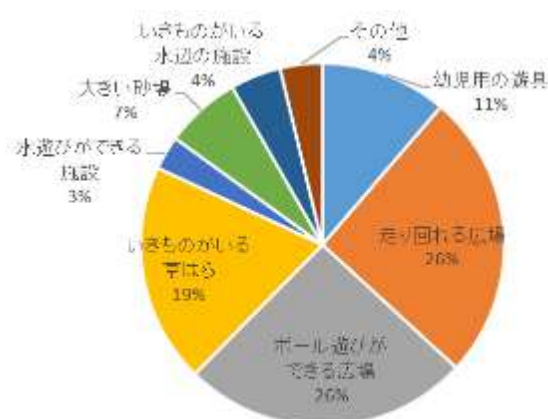


図 2-3-5 公園にあって欲しい施設

6) 自由記述

自由記述の意見では、大きくハード面に関する要望とソフト面に関する要望に区分された。ハード面では「幼児・乳児向け遊具の導入」や「虫刺され防止、囲い、芝生やラバー等、安全に利用できる公園の整備」の意見が多く、園児の安全性が確保された中での遊具等の遊ぶ環境の充実への要望が多い。一方、ソフト面では園児の安全確保のため、タバコなどゴミの清掃に関する意見や、ポイ捨てを減らすための地域の理解促進、公園利用マナー順守を促すための啓蒙活動への要望が多い。

表 2-3-2 自由記述

項目	要望の内容	回答数
ハード面	広場、芝生の整備	6
	ボール遊び、木登り、泥んこ遊びなど多様な遊びができる公園の整備	9
	身体の発達を促す遊具の導入	3
	幼児・乳児向け遊具の導入	1 2
	自然体験のできる公園の整備	8
	虫刺され防止、囲い、芝生やラバー等、安全に利用できる公園の整備	1 2
	トイレ、東屋、シャワー等の設備	8
	広い公園の整備	1
ソフト面	衛生管理、清掃の推進	7
	植栽や遊具等の公園設備の管理	2
	パトロール巡回	2
	他の保育所等の公園利用に関する情報共有の仕組み（同時利用の回避）	5
	地域の理解促進、公園利用のマナー順守	9

(2) 考察

1) 利用状況

平日は保育所等の公園利用が多く、ヒーローバスにより遠方の公園であっても利用される場合もあり、利用される公園も過年度と比べて増加している。しかし、公園に幼児・乳児向けの遊具が少ないといった意見や、他の団体と利用時間が重なり利用できなくなったことや、タバコなどゴミのポイ捨てが多く一般の利用者のマナー順守など、公園利用にあたっての課題も浮き彫りになっている。

休日は家族・子連れでの利用が最も多く、そのような実態を反映し、施設への要望としてもレクリエーションや子育てに関する意見が多かった。また、プレーパークの整備意向についても自然とのふれあいを重視した自由な遊び空間の整備について要望が多かったことから、公園等の整備にあたっては、様々な世代が自然とのふれあいを楽しめるような空間づくりに留意することが望ましい。

2) 施設管理

施設管理に関しては、清掃管理や樹木等植物の管理について「現状で十分」との意見が最も多く、現状の施設管理の継続が重要と考えられる。一方で、夜間の照明設置や公園周辺の歩行環境の整備、幼児等が安全に利用するための柵の設置など、安全の確保に関する要望も多く、一般利用者の利用マナーに関する啓発も含め対応が望まれている。

3) ボランティア活動支援

「自然観察会の手伝い」、「花壇、樹木等の世話」など、ボランティア活動への参加意向は5割近く回答が得られており、活動への参加を促進するためにPRを積極的に行っていくことが必要との意見が多かった。また、活動への参加意向のない区民に対しても、参加を促すためにボランティア活動に関する周知、PRが最も重要との意見が多く、いかに情報発信を行っていくか課題である。